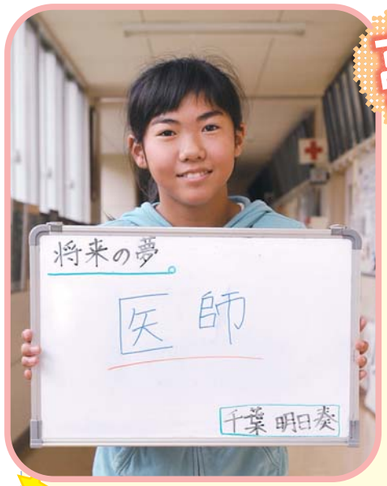

夢トーク 73　将来の夢は「医師」

千葉　明日奏（あすか）さん
（水沢区・水沢小学校６年）

Interview

――学校での役割は？

計画委員会の委員長です。毎月の目標を考えたりするのが仕事です。目標を達成できると、とてもやりがいを感じます。

――小学校生活の思い出は？

小学校最後の運動会で、みんなの心を一つにして応援できたことです。全力で声を出し、応援合戦で勝つことができました。

――好きなスポーツは？

縄跳びです。二重跳びは50回以上跳ぶことができます。

――中学校へ進学したら、やってみたいことはありますか？

バドミントンです。何部に入るか悩んでいたのですが、リオオリンピックでの日本選手の活躍を見て決めました。

――将来の夢を教えてください。

医師です。病気になったとき、担当の先生が分かりやすく説明してくれて、その姿をかっこいいと思いました。

――夢を叶えるために、頑張っていることは何ですか？

目の前のこと一つ一つに集中すること。そして、集中するだけでなく、効率的に物事を進めることを心掛けています。

青春讃歌 37

東水沢中学校 美術部

◎部員数　31人
◎顧問　高橋　朋子 先生
　　本田　守 先生
◎部長　佐藤　千風（ちかぜ）さん（２年）

制作は締切厳守で！

10月22日、23日の文化祭に向けて準備を進める東水沢中学校美術部の部員たち。学年の垣根を越えて、仲良く明るく共同制作に取り組んでいます。

これまでも部員同士の仲が良かった同部ですが、より仲良くなるための取り組みとして、春から座席の配置を変更しました。「学年ごとに離れていたテーブルを、コの字形につなげてお互いの顔がよく見えるようにしました」と語る部長の佐藤千風さん。配置換えは部員たちのアイデアで、学年を越えた協力やアドバイスがしやすくなったそうです。

指導する高橋先生から「明るく素直で一生懸命」と評される部員たち。そんな部員たちは、絵画コンクールに２作品以上出展するなど積極的に制作に取り組んでいて、ことしの「絵で伝えよう！私の町のたからもの絵画展」では、個人の入賞だけでなく、部としても学校奨励賞を獲得しました。その他にも、田んぼアートへの参加や、国体の手作り応援のぼり旗の制作など、地域との関わりを大切にしています。

最高の作品を創りたい

ことしの文化祭では「四季」をテーマにした個人作品と共同作品を発表します。共同作品は、紙を貼り付けて作る立体的な絵画。「みんなで一緒に作業に取り掛かれるよう、個人作品は期限内で仕上げるように心掛けてきました。最高の作品を創り上げたいです」と佐藤部長は文化祭にかける思いを語りました。

国体決起集会で市内の小・中学校を代表してのぼりを市長に渡した

青春賛歌掲載団体募集！▼生徒・児童が参加する団体が対象です。詳しくは、本庁政策企画課広聴広報係（内線418、✉kouhou@city.oshu.iwate.jp）までお問い合わせください

雨の日も晴れの日も 37

◉どんなときも一緒の素敵な夫婦を紹介

石田　博幸さん（44）
千　晶さん（45）
＝前沢区古城字比良＝

前沢区南陣場に工場を構える㈱石田印刷。新聞の編集制作や農産物パンフレットなどを手掛けるこの会社を経営するのが石田夫妻です。

二人の出会いは、福島県でのこと。印刷業の勉強のため博幸さんが研修した会社に勤めていたのが千晶さんでした。研修を終えた博幸さんが前沢に戻った平成５年に結婚し、２男１女に恵まれています。

父の創業した石田印刷で博幸さんが働き始めたころは、印刷業界にＩＴ化の波が押し寄せてきた時期でもありました。「激動の時代。国内３番目に機械の導入を決めたら、メーカーからも止められました」と笑う博幸さん。分業が当たり前だった業界は５年ほどの間に大きく変化し、消えていった業種もあるそうです。

今も時代の変化を意識する二人は、19年に出版部門「奥州出版」を立ち上げています。「家庭にもプリンターが普及し、印刷の将来は不透明。出版では、郷土史などの形を残す必要がある歴史的資料に関わっていく」と意欲的です。

二人は、夫婦で厄年連に参加するなど、地域との関わりも大切にしています。「地域活性化には雇用を増やす必要がある」と経営を通じた地域振興に熱意を燃やす博幸さんと「一緒に頑張ろう」と語る千晶さん。同じ目標に向け、共に努力する二人でした。

おうしゅう Oshu 羅針盤

今月、第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」が開催され、全国から集まった選手により素晴らしい熱戦が繰り広げられました。多くの人が会場に足を運び、熱い声援を送るなど大変盛り上がりました。国体の実施に当たっては、大会関係者をはじめ、ボランティアや多くの市民の皆さまにご協力をいただきました。深く感謝申し上げます。ありがとうございました。この大会を機に、本市の「おもてなしの心」を一層磨き、市民スポーツを振興してまいります。

先月、敬老会が市内各所で開催され、祝唄や余興で長寿を祝いました。また、盛岡市で開催された県民長寿体育祭いきいきシニアスポーツ大会では、奥州地区チームが２年ぶりに優勝しました。シルバー世代の皆さまには、これからもスポーツや趣味、地域活動など精力的に取り組んでいただき、地域の良き先輩としてご活躍いただきたいと願っています。

東北道奥州スマートインターチェンジの着工式が胆沢区小山地内で行われました。広域的な物流や人的交流の促進、観光の振興などさまざまな経済効果が期待されるほか、県立胆沢病院から岩手医大附属病院までの患者搬送時間の短縮により更なる救命率の向上が図られます。２０１８年３月の供用開始を目指し、建設を進めてまいります。

東北地方を横断した台風10号は、沿岸地方に甚大な被害をもたらしました。復旧に時間がかかることから、市では被災地に職員を派遣するなど引き続き支援してまいります。また、先月、市総合防災訓練を前沢区内を主会場に行いました。いつ起きるか分からない自然災害に備え、日頃の防災意識を高めながらさまざまな訓練を行い、被害を最小限にくい止めるよう努めます。

奥州市長　小沢昌記